

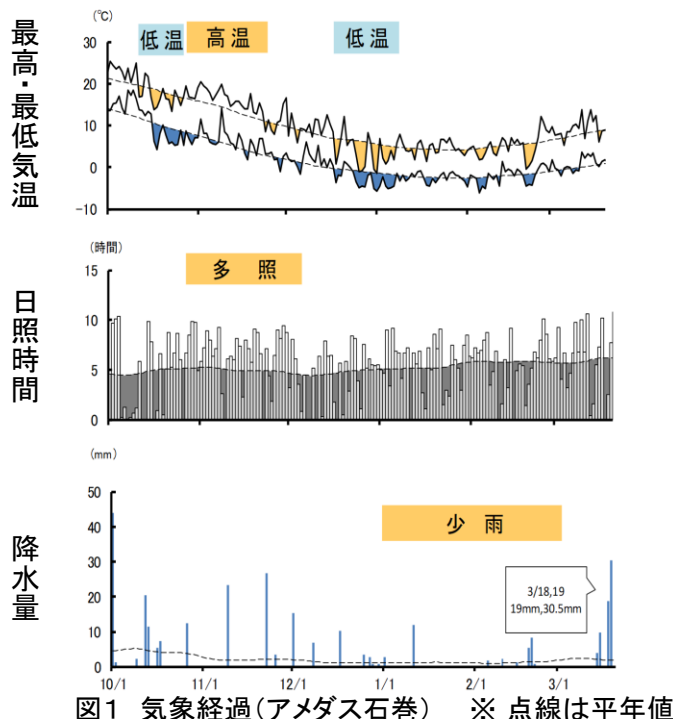
令和4年産 麦作情報 (Vol. 3)

令和4年3月25日
宮城県石巻農業改良普及センター
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999



技術情報はこちらからも！→

1 10~3月の気象経過と1ヶ月予報



【気温】	10	30	60
【降水量】	40	30	40
【日照時間】	30	30	40

■低い(少ない) □ 平年並 ■高い(多い)

図2 1ヶ月予報(3/26~4/25)
数値は、各項目の各階級の確率を示す
(仙台管区気象台3/24発表)

【3/26~4/1】	10	10	80
【4/2~4/8】	20	40	40
【4/9~4/22】	20	30	50

■低い □ 平年並 ■高い

図3 1ヶ月気温予報(週毎)
数値は、各項目の各階級の確率を示す
(仙台管区気象台3/24発表)

2 生育調査ほの生育状況(3月17日現在, 表1, 次頁写真)

- ◆ 草丈は、播種時期が平年より早かったほ場で平年並~平年を上回っています。真野ミノリムギは、鳥害により葉が食害を受けた影響で草丈は平年をやや下回っています。
- ◆ 茎数は、すべてのほ場で平年を上回っています。
- ◆ 幼穂長は、10月上旬に播種したほ場で平年を上回っていますが、10月中旬以降に播種したほ場では平年並~平年をやや下回っています。管内の大麦・小麦ほ場の8割では、10月20日から10月31日までに播種されたため、生育ステージの推移はほとんどのほ場で平年並と考えられます。

表1 生育調査ほ調査結果(3月17日調査)

品種	調査ほ (旧市町)	播種日(月日)			草丈(cm)			茎数(本/㎡)			幼穂長(mm)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
シュンライ	神取 (桃生)	10/10	-6	-14	15.2	-0.7	+2.8	1157	99%	154%	4.2	+2.0	+2.2
ミノリムギ	高須賀 (桃生)	10/22	+2	-3	14.1	-0.9	+0.3	866	144%	163%	1.7	-0.9	-0.2
	真野 (石巻)	10/23	-6	-6	10.7	+0.9	-0.6	1012	146%	163%	1.4	-0.5	-0.7
ホワイトファイバー	水沼 (石巻)	10/18	-2	/	14.1	-1.6	/	866	88%	/	2.2	-0.0	/
シラネコムギ	小船越 (河北)	10/10	-50	-27	20.3	+11.9	+8.3	1411	519%	349%	1.0	+0.9	+0.7
	樫崎 (桃生)	10/31	+11	+3	14.2	-3.9	-1.3	929	77%	101%	0.2	-0.9	-0.7

※ 平年差・比は過去5か年の平均値との比較。

※ 播種日の+は遅い, -は早いことを示す。

※ 水沼ホワイトファイバー調査ほは調査4年目のため、平年差・比は過去3か年の平均値との比較。

(1) 排水対策 ～節間伸長期から登熟期の湿害は穂数の減少や子実の充実不足による収量・品質の低下につながるため、排水対策を徹底しましょう！～

- ◆ 暗きよの水閘が閉じているほ場がないか、再点検しましょう。また、明きよの手直しを行いましょ。
- ◆ 大雨の後には、ほ場を巡回し排水口に稲わらなどが詰まっていないか確認しましょう。

(2) 追肥 ～適期追肥に努めましょう！～

① 幼穂形成期追肥 … 穂数の増加

- ◆ 大麦では、多くのほ場が幼穂形成期を迎えており、小麦も4月上旬頃に幼穂形成期に達すると予想されます。幼穂形成期追肥では、大麦、小麦とも窒素成分で2～2.5kg/10a程度施用しましょう。

② 減数分裂期追肥 … 1穂粒数の増加

- ◆ 大麦は、追肥が遅れると硬質麦の発生が多くなるので、次頁以降を参考に幼穂長や止葉葉耳間長を観察し、適期追肥に努めましょう。

- ◆ 追肥時期の幼穂長の目安は30mmです。この時期の幼穂は1日で5mm程度伸びるので、幼穂長が30mmとなる頃までには追肥作業が終わるようにしましょう。

- ◆ もち性大麦ホワイトファイバーは、水溶性食物繊維「β-グルカン」を豊富に含んでおり、β-グルカン含有率の確保のため減数分裂期追肥は必ず行いましょう。

- ◆ 減数分裂期追肥は窒素成分で2～2.5kg/10aを目安とし、適期に施用しましょう。



追肥の種類 (生育ステージ)		幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長30mm)	穂揃期 (8～9割が出穂)
期待される効果		有効茎歩合増加 (穂数の確保)	1穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大麦	時期 シュンライ ホワイトファイバー	2月下旬～3月中旬	4月下旬	硬質麦防止のため 実施しない
	時期 ミノリムギ	3月上旬～4月上旬	4月下旬～5月上旬	
10a当たり 施用量		窒素成分2～2.5kg (硫酸10～12kg) (尿素4.5～5.5kg)	窒素成分2～2.5kg (硫酸10～12kg) (尿素4.5～5.5kg)	
小麦	時期	3月下旬～4月中旬	4月下旬～5月上旬	5月中旬
	10a当たり 施用量	窒素成分2～2.5kg (硫酸10～12kg) (尿素4.5～5.5kg)	窒素成分4～5kg (硫酸20～25kg) (尿素9～11kg)	窒素成分2～2.5kg (硫酸10～12kg) (尿素4.5～5.5kg)



写真1 麦の条間に多発するスズメノテッポウ

(3) 雑草防除 ～散布適期を逃さないようにしましょう！～

除草剤名	作物名	対象	使用時期	使用回数	作用機分類	希釈倍数使用量 (散布液量)	最終登録更新日	
アクチノール乳剤	麦類	一年生広葉雑草	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	2回以内	HRAC:6	100～200ml/10a (70～100L/10a)	2021/1/27	
ハーモニー75DF水和剤	小麦	スズメノテッポウ	播種後～麦2葉期	1回	HRAC:2	5～10g/10a (100L/10a)	2020/11/11	
			麦3葉期～節間伸長前	1回		5～10g/10a (50～100L/10a)		
		一年生広葉雑草	播種後～麦2葉期	1回		5～10g/10a (100L/10a)		
			麦3葉期～節間伸長前	1回		5～10g/10a (50～100L/10a)		
	大麦	スズメノテッポウ	一年生広葉雑草	節間伸長開始期～穂ばらみ期 (但し、収穫45日前まで)		1回		3～10g/10a (50～100L/10a)
				播種後～麦2葉期		1回		5～10g/10a (100L/10a)
		一年生広葉雑草	麦3葉期～節間伸長前	1回		5～10g/10a (50～100L/10a)		
			播種後～麦2葉期	1回		5～10g/10a (100L/10a)		
バサグラン液剤(ナトリウム塩)	麦類 (小麦を除く)	一年生雑草 (イネ科を除く)	生育期(但し、収穫90日前まで)	1回	HRAC:6	100～200ml/10a (70～100L/10a)	2021/11/24	
	小麦	生育期(但し、収穫45日前まで)	1回	100～200ml/10a (70～100L/10a)				
MCPソーダ塩	麦類	一年生及び 多年生広葉雑草	(秋播麦類) 幼穂形成期 (但し、収穫45日前まで)	1回	HRAC:4	200～300g/10a (70～100L/10a)	2020/10/28	

減数分裂期追肥時期の予測法① ～実際に幼穂長を測定して予測する～

- ◆ 減数分裂期頃の幼穂は比較的容易に確認することができます。
- ◆ 長さの中庸な主茎(1株内の最長茎)を3本以上採取し、茎の膨らんでいる部分を手で剥くか、カッターで縦方向に切り裂いて、幼穂の長さを測ります。
- ◆ 測定した幼穂長の平均が10mmであれば減数分裂期までの日数は10～20日後、20mmであれば4～6日後となります(下表)。

◎ 減数分裂期は、正確には主茎と1・2号分けつの幼穂長平均が30mmなので、主茎の幼穂長のみだと大麦の場合33～35mm程度あります。

芒は幼穂長に含めない

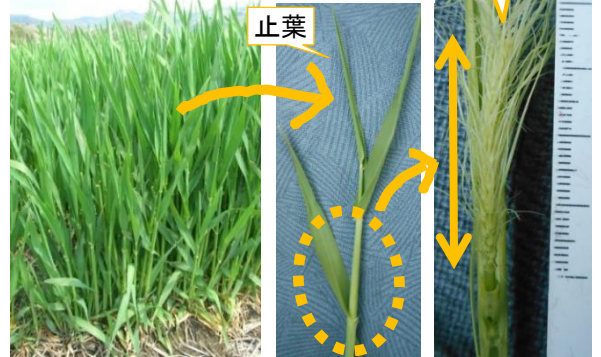


表4 幼穂長が10mm, 20mmに達したと仮定した日から予測した減数分裂期予測日

10 mmに達した日	減数分裂期予測日(30mm)				
	シュンライ	ホワイトファイバー	ミノリムギ	シラネコムギ	夏黄金
3月25日	4月10日	4月10日	-	-	-
3月30日	4月13日	4月13日	4月14日	-	-
4月5日	4月18日	4月18日	4月18日	4月18日	4月18日
4月10日	4月22日	4月22日	4月22日	4月22日	4月23日
4月15日	4月26日	4月26日	4月27日	4月26日	4月26日
4月20日	4月30日	4月30日	5月1日	4月30日	4月30日
4月25日	-	-	5月5日	5月4日	5月5日
4月30日	-	-	-	5月9日	5月9日

20 mmに達した日	減数分裂期予測日(30mm)				
	シュンライ	ホワイトファイバー	ミノリムギ	シラネコムギ	夏黄金
3月25日	-	-	-	-	-
3月30日	-	-	-	-	-
4月5日	4月11日	4月11日	-	-	-
4月10日	4月16日	4月16日	4月16日	4月16日	4月16日
4月15日	4月20日	4月21日	4月20日	4月20日	4月21日
4月20日	4月25日	4月25日	4月25日	4月25日	4月25日
4月25日	4月29日	4月30日	4月30日	4月29日	4月30日
4月30日	-	-	5月4日	5月4日	5月4日
5月5日	-	-	-	5月9日	5月9日

※ 普及に移す技術第91号をもとに石巻アメダスの日平均気温(平年値)を使用して算出した目安。今後の気象条件によって実際の減数分裂期は前後する。

減数分裂期追肥時期の予測法②

～止葉葉耳間長が±0mmを超えた茎の割合から、追肥の開始時期を判断する～

※普及に移す技術第81号・83号・84号

- 大麦(シュンライ/ミノリムギ/ホワイトファイバー) → 2割程度の茎が止葉葉耳間長±0mm以上に達したとき
- 小麦(シラネコムギ/あおばの恋/夏黄金) → 4～5割の茎が止葉葉耳間長±0mm以上に達したとき

